

っている。

保健医療の意思決定においては、保健・福祉省は消費者が必要な情報を得て、それを使うために支援するという重要な役割を担っている。アメリカ人のほぼ10人に9人が医療の質に関しては政府が役割を持っていると信じている。ほぼ半数以上の人が、最低限水準を確保するためには、政府は医療提供者を監視するとともに、それらの質の情報が一般に有効であるかを確認するべきであると考えている。情報源を動員し、公表することによって、保健・福祉省は消費者の情報へのアクセスを向上させ、彼らの友人や家族の意見を補足するデータを供給することができる。

目標達成方法

保健・福祉省のこの目標に向けた戦略は消費者に権限を与え、情報を持った上で保健医療を選択し、彼らが受けている医療の質を評価できるようにすることである。

質の測定知識の向上

質の測定に関する知見を向上させる。質に関する知見を向上させる研究と評価には、ヘルスケアシステム(計画、提供システム、組織、専門家)のすべてのレベルにおいて、改善された質の測定方法を開発することが含まれている。AHCPRは保健システム全体の質の測定方法を開発する。HCFAはメディケアとメディケイドに特化した測定方法に注力する。ASPEは虚弱高齢者と身体障害者に関する研究を行う。SAMHSAの研究は精神医療や薬物濫用、その他の依存症を治療するためにどのように良質の保健サービスを提供するかということに焦点を当てている。

消費者が情報をもとに保健医療を選べるよう手段を開発し、普及する。消費者が質のデータが存在するにも関わらずそれに依存しないという事実はこれらの情報を組み立て、提供する新しいアプローチが必要だということを示唆している。これらの取り組みの中で、消費者が保健医療情報を探すときに消費者に届くよう広範囲にわたる様式を用いる素材とツール(プリント、エレクトロニクス、ビデオ、インタラクティブディスク)も利用する。特に弱者に対して草の根的に広めることが強調されている。数々の重要な発議が進められている。例えば、AHCPRとHCFAでは、一般及び特定の視聴者に対して質に関する情報を伝える良い方法を開発しテストすることに投資を行う。SAMHSAは精神医療サービスを受けている患者とその家族のための消費者志向のレポートカードを開発し、大人、青年、子ども用の医療結果の尺度をレポートカードに含める試みを広げている。

測定方法

- ・ 意思決定のための確実な、信頼のできる、消費者志向の情報やツールの入手可能性
- ・ 質の情報を見て、自分のヘルスケアに関する意思決定にその情報を用い、かつ友人や家族がヘルスケアの選択をする際にその情報を用いてアドバイスを与える消費者

のパーセンテージ

新しい法規

ない

主な外的要因

ヘルスケアの質を計る、消費者に適切な測定方法を開発し、それを利用し、普及させるためには、官民双方の支援を引き続き行うことが重要である。

戦略目標 4.4

消費者保護を向上させる

当省のコスト意識が高まるにつれて、健康計画は「要求に応じたヘルスケア」の意識(health-care-on-demand)からケアは医学的に必要な時、もしくは病気の予防のためのものという意識への移行を助ける上で重要な役割を果たす。しかし、このようなケアの有効性への注目は比較的新しい現象であるので、診療知識はまだ科学的治療(evidence-based treatment)の治療プロトコルを支持するには不十分である。的確なケアの管理と必要なケアへのアクセスの不適切なアクセスを否定する区分は、いつでもクリアなわけではない。このあいまいさの中では、コスト削減を強制することは、消費者に健康計画のケアマネジメント行為に対する不安を与える。しかし、消費者は明確に不適切な医療行為からは守られるべきであるが、健康計画は新しい診療及び管理のプロトコルの開発に自由であるべきである。それと同じように、出来高払いで提供されている、疑わしい質のサービスに関しては用心を続けるべきである。なぜなら、消費者、保険提供者、保険を提供する公的制度にとって、不利な結果や不要なコストが予想されるからである。すべてのタイプの計画がケアをより効率的に提供する方法を求めているように、消費者は多数の過程(事前認定など)を経ることが必要になることやいかにして保健計画のカバーする範囲を獲得するかといった選択を迫られることになる(例：地元の薬局を利用するか、健康計画の郵便オーダー薬局を利用するか)。これらの選択は本質的に財政的な意味合いを持っている。保健計画がより複雑化、多様化するのに伴い、それらがいかに作用するかに関する情報は、消費者が自らの権利を行使し、自らのニーズに最も合う選択を行うようになれば、必須となる。そして、さまざまなタイプの提供者の取り決めが激増するのに伴い、消費者は医療提供者と保健計画の間の財政上及び契約上の関係をより意識するようになる必要がある。

達成方法

これらの問題は、公的であろうと私的であろうと双方の保健計画、プログラム、

そして補助金に関係している。実際、(公的と私的の間には) まったくの区別がないときもある。例えば、ある保健計画には公的セクターと商業登録の両方がある。保健・福祉省は、その保護の中でケアを受けるすべての人々が複雑なヘルスケア環境の中を航行するにあたっての必要な情報を持てること、ヘルスケアとコスト管理の中で不当な境遇にさらされないようにすること、苦情がある時には聞いてもらえるようにすることにおいて義務がある。保健・福祉省は問題や選択肢の科学的根拠に基づいた分析や、サービスの受け手が権限を持つための情報の開発、モデルによるアプローチの開発に際しては、重要なリーダーという役割がある。メディケア HMO プログラムや政府認定の HMO プログラムを管理する代理人として、またメディケイドを管理する際に州と協力する代理人として、HCFA はマネジドケア革命により近年注目を集めたこれらの消費者保護問題を取り扱ってきた長い歴史を持っている。

保健・福祉省プログラムの中で設定された基準は私的に購入されたサービスに重要な影響を与えることができるとともに、さらに消費者保護によるコストと、費用対効果を実証することができる。

正確な情報を提供する。ヘルスケアの購入者として、政府公認の HMO の調整役として、そして自らのプログラムの管理者として、当省はサービスの受け手や補助金の受け手、保健・福祉省の援助の下でケアを受ける他の人々が、ヘルスケア提供環境の中で進んでいくために必要な情報を確実に持てるようにする。当省は、サービスの対象者に直接情報を提供することを通じて、また、契約者と補助金の受け手によって提供される情報を評価することを通じて、この任務を達成する。この情報のうちいくつかは、メディケアとメディケイドのマネジドケアプランにおける資料のマーケティングは、HCFA (または州、最近法制化された法規定) により事前に認可を要することから発生している。

有害な医療行為からの保護

保健・福祉省は、同時に以下のような有害な医療行為から、保健・福祉省が資金提供しているヘルスケアを受けている人々を守るために努力する。

- 治療の選択肢に関する情報を隠す
- 事前権限で救急治療室を確保したり、本当の緊急事態の時ですらネットワーク内部の人間のために使用する状況
- 患者が緊急だと信じ、シロウトとしての評価としては合理的であるときに救急治療室におけるケアの適用を拒否する
- 計画がその提供者を変更した時に治療の流れを不必要に崩壊させる
- 必要なケアへのアクセスを不当に妨げるようにゲートキーパーや他のケースマネージャーを用いる
- 要求された治療が実験的 (そして、それゆえ煮カパーされていない) かどうかを判断するのに非合理的な遅延を行う

これらは例証であり、時間と共に変化する。その多くがメディケアとメディケイドのマネジドケアプランにおいて「分別のあるシロウト」の定義や、情報を隠すことの禁止、保健医療計画において緊急医療において事前認証を必要とするものの禁止、治療判断における不適格な遅延に対する償還請求書を提供すること（メディケイドと新しく制定されたメディケイド促進アピール過程により）、一般的な要求ケアの継続、などの法規や法令もしくは政策の状況などにより取りかかられている。メディケアとメディケイド計画がこれらの水準に達するかは保健医療計画の現場での検証と会員の苦情などに反応することによって決定される。

効果的な苦情、不平への処理手続きを確保する。当省は保健・福祉省資金計画のプログラムの消費者と共に私的に資金提供されている保険やケアのシステムへの保護を提供する。SAMHSA 中にある精神医療サービスセンター (CMHS) は精神疾病をもった個人に対する保護と弁護プログラムを管理したり、彼らを介護し、治療する施設の虐待と無視 (neglect) の報告を調査する役割も持つ。高齢化総局 (AoA) におけるオンブズマンプログラム (the ombudsman program) は高齢者に似たような (前述と) 役割を果たすと共に ACF 総局の発達障害の弁護プログラムもそのグループに対して同じ役割を果たす。

メディケアとメディケイド制度の受給者は行政上、司法上の検証を通じて、有効な支払いプロセス (due process) に加え、促進されたアピールプロセスという施策がある。要求に対する保健医療計画の遵守は現地評価 (on-site-review) そして、直接受理した苦情の処理によって決定される。メディケアの受給者も保健医療計画で受けるケアの質について同僚評価 (peer-review) 組織に直接苦情をいう権利をもつ。

メンバーが訴える権利について完全に認識しているかどうかは引き続きの関心事である。保健医療計画のマーケティング材料は苦情と意思表示機構に関する細かな情報を含む必要がある。HCFA と州も情報、カウンセリング、州への補助金を通じて受給者に情報を与えるダイレクトメールやサービスの努力をしている。

当省により資金給付されているすべてのプログラムの管理の中で、保健・福祉省は受給者、補助対象者、そして他の保健・福祉省出資の保健医療計画と関連がある人たちの苦情を聞くために適切な苦情処理へのアクセスがあることを保証する。

機関間調整の確保。全保健・福祉省横断的に前述の保護ができるだけ一律に実現するためにワーキンググループが結成される (とはいうもの、例えばメディケイド保健医療計画の登録者 (enrollee) に必要な情報と公衆精神健康医療の依頼者に必要な情報は同じでないかもしれない)。このワーキンググループは消費者保護とヘルスケア産業における大統領委任顧問の推奨を考慮する責任を持ち、それらの発想と推奨

を保健・福祉省プログラムと補助金(grants)に遂行するために評価する。

測定方法

- ・ケアの質を落とすような管理行為から消費者を保護する保健・福祉省資金計画プログラムに関する手順の変更
- ・数々の保健・福祉省プログラムと補助金により設定された消費者情報素材の存在と利用の中で消費者が情報が彼らのために存在しその情報が便利であると思えること
- ・保護が求められた結果を得た程度
- ・評価研究と現地評価(on-site review)によって得られた法定と規定の要求への保健医療計画の遵守

新しい立法と法規

現時点では認識されているものはない

主な外的要因

来年にかけて多種のグループがヘルスケア産業における消費者保護に関する調査結果と勧告を報告する。例えば、消費者保護とヘルスケア産業における大統領委任顧問は、1997年秋に消費者権利章典(consumer bill of rights)の推奨を行い、1998年春には消費者保護に関するさらに細かい検査を進める。議会はすでに広い種類の消費者保護を提示する数々の法案(bills)を抱えている。州立法府も色々な種類の方法を考えている。保健・福祉省はそれら、他のソースから保健・福祉省の下にある消費者保護を向上させるためのものを引き出す。

戦略目標 4.5

対人サービスの質を向上させ、効果を上げる知見を開発する研究を促進させる

経済、合衆国の社会、家族、個人の幸福の向上には保健・福祉省を通じて提供されているサービスの効果とそれをいかにすれば向上できるかを理解する事が必要である。

達成方法

対人サービス提供システムは現在、当省の質の高いサービスの提供能力に対する新しい要求が求められる巨大な変革の途上にある。そして、さらなる疑問を提起するものである。保健・福祉省の役割は州や他との連携を支援し、州と部族政府と地域社会が質の高い、そして効果的な社会サービスに関する現状の情報を持てるために彼等のデータを発展させ限界を評価し、技術的補助を与える事などを含む。当省の戦略は4つの部分から成る：研究機構(research infrastructure)を発達させる、

福祉改革(welfare reform)に重点的研究を行う、質の高いサービスに関する情報を発展し広めるための実践と評価を行う、そして技術的支援を提供する。

研究機構を発展させる。当省は評価と計画策定、統計的モデル策定能力、データベース、その他評価にとって必要な資源のための分析的機構を発展させ続ける。さらに、当省は2つの貧困に関する国立研究センターへの助成を通じて、貧困の原因と貧困を減らすための政策の効果に関する理解を進展している。それらのセンターは州レベルでの貧困政策の革新、低所得家庭とその子ども達の福祉、労働市場機会の変化、集中した都市貧困(concentrated urban poverty)に関する特定の問題などに焦点を置いている。

福祉改革を支援するための研究の推進。当省の貧困政策の改革の研究議題には二つの主目的がある：(1)政策とプログラム設計と意思決定に知らせるための時宜を得た、信頼できるデータを特に州と地域レベルで提供し、その改革の成功へと導く。(2)そして子ども、家庭、地域社会、そして社会的福祉に与える政策の影響を知らしめることである。これらの目的を達成するために当省は免責(waiver)評価として始まったプロジェクトを強化した。それは福祉改革の実行について、あるいは福祉改革のための様々なアプローチによる影響について、いち早く、継続的に評価へのフィードバックするためのものである；大学の研究者が、政策の効果と実行の選択について継続的に研究し、理解する能力を保持、向上させ；国立 JOBS 評価や家族政策(Parents' Fair Share)など既存の連邦投資について研究され；他の公的、私的の研究の資金提供者らと協力し最大限の影響力を持ち、必要な家族に対しての暫定的支援(TANF)だけでなく、児童ケアや児童サポート施行そして、児童貧困などの他の鍵となるエリアなどに強力な理解を構築する。

質の改善とプログラム設計を改善させるための実行と評価を行う。自らのプログラムと州や他に対する補助金の提供を通じて当省は対人サービスの質の向上に貢献する。例えば、実施免責(demonstration waivers)はいくつかの州で、子どもと家庭の成果向上のために児童福祉サービスの財政やサービス提供の方法に関する代替規定を検証する形で用いられている。活発な評価活動を通じて、保健・福祉省は連邦の財政とサービスが、子どもや家庭のニーズに合致するために、どのようにして改善することができるのかという点について多くのことを学び得るものと考えている。慎重に設計されたインパクト評価(impact evaluations)は政策と実行にとって有益な情報を表わす。例えば、家庭保護サービスのインパクトは子ども達に対する永続的(permanency)な影響を与える；家族サポートサービスのインパクトは児童虐待防止に有益な情報を表わす；早期ヘッドスタートプログラム(Early Head Start program)は児童の発育に関する問題に有益な情報を表わす。革新は、養子行為、親族ケア、児童虐待防止と無視の防止、そして子どもの福祉に影響する他の分野においても検証される。

技術的支援と情報の普及。技術的支援と普及活動の中で、当省は基本政策とプログラム設計が、信頼できる情報に基づいて策定される機会を最大にする意図がある。法律は新しい TANF プログラムの中で、以前にはなかった地域の柔軟性を認めている。保健・福祉省の技術支援施策は、その成果、ベストプラクティス（最優良事例）、地域が共通している問題に焦点が当てられる。さらに、当省はヘッドスタート、児童ケア、幼稚園前、そして低所得児童とその家族への家族識字の向上について、資金面、サービス連携の強化を意図している。

測定方法

- ・ 研究、評価、そしてプログラム実施がそれぞれの分野での主な問題を表し、研究結果が政策と実際面での重要な論題に関する意義のある新しい情報を表わす。
- ・ 技術支援施策は、州と地域機関のニーズに応える形で進められ、支援が有用であり成果や訓練が利用される限りにおいてその成果が測定される。

新しい法規

なし

主な外的要因

この分野における研究は保健・福祉省の継続した傾倒と他のパートナーのプログラムの効果の理解と当省が期待、もしくは望んだ結果が出なかった時の状況の保持者(preserver)にかかっている。

[5 公衆衛生システムを改善する]

過去 50 年以上にわたってアメリカの保健医療システムは、寿命を延ばし、疾病治療において顕著な向上を果たした。しかしながら、臨床医療は今世紀の初め以来 30 年延びた平均寿命について、5 年分にしか功績を認められていない。公衆衛生の方が治療より大きな影響を与え、臨床医療と共に保健・福祉省達成すべき役割にとっては重要な役割を果たしつつあるであろう。公衆衛生システムは安全な飲み水を供給し、天然痘やポリオなど主要の感染症を減らし、時には完全に消し去り、供給食料の汚染を減らした。

州の保健機関は資源を増やし、地域連携機関を支援するために創造的役割を果たしている。それでも、昨今、ほとんどの地域保健局は既存ニーズに応えるために必要とされる、的確な情報システムと訓練されたスタッフの不足を報告している。地域健康当局では、沢山のスタッフのコンピュータと電子情報に関する訓練とアクセス不足で技術的な格差がもっとも顕著である。

さらに、保健医療機関は、以前公営の病院サービスを受けていたメディケイド受給者達が現在ではマネジドケアネットワークに移っていることに影響を受けている。この移動はメディケイド支援の当省の総経費で支えていた、基礎的公衆衛生サービスを失うこととなる。そのため、マネジドケアへの移行は、保健機関の役割を変化させることとなる。特に基礎的公衆衛生サービスにおいて、広い範囲にわたるサービス提供の機会において役割の変化が顕著である。しかしながら、そうすることによってスタッフを今までの直接的ケアから必要人口に応じたサービス (population-based service) を行うものとして訓練する必要がある。これはさらに、保健機関において、これまでの基礎的公衆衛生サービスに必要であった資源損失を明らかにしなければならないことを意味している。

当省は、食品と医薬品の安全性への取り組みという分野についても挑戦していく。医薬品のエリアでは、処方箋薬使用者負担条例 (prescription drug user fee act) の下で新しい薬と生物薬 (biologics) などをより早くアメリカの国民に提供できるという進展があった。これは、科学的検証を徹底的に進めることによって取組まれた。しかし、処方箋使用者費用条例の範囲でさらなる進展が期待されており、その進展には科学的検証が一層重要である。

食品供給の安全を確保することは政府にとって永続的な役割であり、最も重要な機能のうちの一つである。合衆国が世界で最も安全な食品供給を持っているが、病原菌 (new pathogens) や新奇な添加物や、危険なダイエット成分、食品自然発生の毒物、そして増加する輸入食品などの主要な問題は明らかにされなければならない。汚染の原因は多岐にわたり、病原菌の種類そのものよりもさらに多種であり、十分

な研究とサーベイそして防止活動が重要となっている。現在、既存の病原菌に対する分析診断方法は深刻な限界があり、当省の供給食料に対する安全を確保する能力を低下させている。

国家の公衆衛生システムを保持し向上させることは当省にとって決定的に優先されている。効果的なプログラムの維持と改善にとって、この分野に対する投資が必要とされる。

保健・福祉省は州や地方政府と共に十分に訓練された労働力を確保し、適切に効果的な情報システムの連携を構築し、公衆衛生のサービス提供に必要な仕組みと資源を確保しなければならない。当省は産業や消費者と共に食品と医薬品供給を守り、値段と（体内）侵入（intrusiveness）を最小化するような、科学に基づいた規制へのアプローチに努める。これらの活動は官房部局（the Office of Secretary）の公衆衛生科学課（OPHS）を通じて調整され、疾病対策センター（CDC）、保健・資源事業局（HRSA）、インディアン保健局（IHS）、薬害精神衛生サービス局（SAMHSA）、食品医薬品局（FDA）、保健医療資金総局（HCFA）と児童家庭総局（AFC）等との連携を図る。

戦略目標 5.1

国民の健康状態を把握し健康に対する脅威を明らかにするための、公衆衛生システムの改善を図る。

監視とサーベイそして評価システムは、公衆衛生における基本的情報を提供するものであり、ヘルスケアの質を向上させるための基礎である。

健康状態を示す指標に関する変化と動向を把握する、適時正確なデータなくしては、効果的な（医療）介入やその達成は覚束ない。研究者、政策立案者、医療専門家、そして一般の人々は国家、州、そして地域の健康データが適時利用できることに依拠している。人口動態統計、確認されている疾病統計、国家健康面接調査統計、全国保健栄養調査、全国ヘルスケア調査などを利用して、保健・福祉省は死因、幼児死亡率、出産前ケア、健康状態と障害、保険適用範囲、ケアへのアクセス、医療行動、診断と治療、健康度（utilization）パターン、そして沢山の他の重要な健康関連の問題を把握することができる。的確な資源を狙うためには、国家の概要情報（national summary information）は州、もしくは地域情報に還元され、資源の適切な方向づけに活用されるべきである。

これらのシステムは一層の向上を必要としている。地域の保健機関、CDC 職員、そして保健・福祉省データ評議会（健康と福祉サービス改革のための長官（Secretary）調査による）等の検討を通じて、データは統合的でなければならない。地域レベルでの電子的情報収集能力が低いことは、国家機関と個々の健康システムなどによっ

て明らかにされている。この情報収集能力の向上こそが、地域における健康ニーズの変化を把握し、地域の健康増進プログラムの結果などを把握するにあたって不可欠である。

地域レベルでの電子的データ収集（例えば、紙のファイルの代わりにコンピュータファイル）は、情報の解析スピードのレベルを上昇させ、その情報によって、なぜ健康状

さらに、健康の問題のタイプと健康に対する不安は過去 50 年で劇的な変化を遂げた。部分的には人間の行動様式の変化、増えつづける国際取引と旅行、環境の変化、そして公衆衛生の内部構造の欠陥が理由として挙げられる。小児麻痺や天然痘は、もはや脅威でないが、それらの沈静化は一般の健康の向上を意味するものではない。それらは、意図しない傷病や、HIV、AIDS、環境が原因の疾病、新しく生まれてきた感染症（食事原因の病気も含む）そして既存の薬に耐性を持ち始めた古い病気などに取って変わってきている。リスク要因の変化を理解することは（例えば、人間の行動様式、環境の変化、感染組織など）健康状態と地域社会においての健康の必要性に対応した健康プログラムを発達させるのに重要である。例えば、もし我々が喘息の率が上昇している原因がある特定の物質 (particulates) の上昇によるものならば、我々は特定の健康推進プログラムを発展させることによって対応することができる。それらのプログラムは(1)特定の物質を減らす政策と規則(2)喘息にかかる可能性がある人々にリスクの高い環境を避けるよう情報を伝える（天気予報を聞く、物質の比率が高い時は物理的行動をできるだけ減らすなど）、(3)適切な医療ガイドラインと介入の存在、などを提示する。

これらの新しい取り組みを満たすためには、当省は出現する一般の健康問題を察知、反応し、最先端の技術と既存の最も効果的な予防戦略を使用できる訓練された労働力が必要となる。最後に、州政府はサービス提供とコスト保持のための機関とサービスの必要性を認識している。それらの戦略は低所得や、医療的に弱い人々 (medically frail populations) に対するマネジドケア計画の迅速な拡張を含む。沢山の事例において、この拡張は、これまでの公衆衛生機関に要していた資源について、メディケイドの拡張によって削減することとなる。これらの人々に対する公衆衛生予防サービスは、マネジドケア下においても有用であることが必要である。

達成方法

公衆衛生システムが、公衆衛生への脅威に対して適切であるためには、保健・福祉省は脆弱な一資源、データシステム、専門家の能力—について重要な部分を強化していくことが必要である。これからの 5 年間、当省は、州政府や地域公衆衛生機関、部族政府と連携し、公衆衛生システム基盤を再整備していく。

技術利用の改善。公衆衛生システムにおいて機関が必要とする調査情報等について、情報収集し、解析し、適時監視するための情報伝達能力を向上させるために、最先端のコンピュータとコンピュータ技術を確保しなければならない。当省の役割は CDC、HIS そして SAMHSA、州政府、部族政府への資金支援を通じて、コンピュータ統合、接続を支援し、ハードとソフトの購入のサポートをする。これらの保健・福祉省機関はコンピュータと情報システムの購入と共用のため既存の分野別資金提供の規制撤廃(elimination of restriction)を必要とする。もしこれが、現存当局の下で行われるならば、州政府は的確な情報構造を開発する、一層の柔軟性を持つことになる。

データ構造への投資

国立健康統計センター(HCHS)は公衆衛生情報や全国の保健統計の収集分析に関する格差を明らかにし、情報がより効率的に収集され、地域の公衆衛生に対するより迅速な行動に結びつくように国の施策を調整する。この役割は、長期にわたるバランスのとれた計画を要し、現在や将来のデータの必要性に関する統一されたプログラムによるものである。この役割は継続したデータ収集の自動化や、開発され応用されたデータ処理と解析ツール、インターネットを活用した広域なデータの展開を含んでいる。CDC、SAMHSA、IHS、HRSA、HCFA そして州政府と部族政府はこれらのプロセスを通じてパートナーとなる。

統一されたデータ要素の定義と、公衆衛生の主要な測定に関する大体の合意が効果的なシステムに必要な不可欠なため、CDC、SAMHSA、IHS そして HRSA は補助金プログラムの中で州と部族政府と共同社会の中での公衆衛生システム向上の業績計測の定義を作る努力をする。業績に関する共同関係の形成がこの戦略の中で核の要素となる。

訓練への投資

大学、州政府、公衆衛生機関などとの協力関係を通じて、HRSA、SAMHSA、IHS、そして CDC は、公衆衛生でのあらゆるレベルにおいて職能訓練を改善することとなる。訓練は、多様な人々との協働や効果的な科学的予防プログラムの設計、主要な分野におけるサービス提供の費用と効果の監視等に必要な職業知識や職業能力の向上に重要である。例えば、CDC は実験、サーベイランスそして評価に関する訓練を重視しており、食物の安全性を向上させるための必要であると考えている。コンピュータ技術の利用を広げることは、公衆衛生従事者に新しい技術を開発する技術的手助けを与えることによって補われる。

資源

HCFA、HRSA、SAMHSA、そして CDC は共同で公衆衛生機関において、メディケイド

資金の損失により発生した問題を明らかにする。当省の代わりに、それらの機関はマネジドケア産業と密接に連携し、保健・福祉省の州政府と地域パートナーは、購買力、医療保健システムと公衆衛生システムの連携を通じて、保健提供システムの改善を進める。保健・福祉省は HEDIS (Health Plan Employers Data and Information Set) などの業績測定システムを重視し、さらに公衆衛生を促進する。

CDC は、州政府に現在のサーベイランス、レスポンスシステムに関する技術的支援を提供する。それは電子的研究報告と分子疫学などを含む。CDC は他に、対微生物抗体の管理、輸血や血液製剤などの脅威、そして旅行者や免疫抑制者、医療アクセスが良くない人々の (underserved population) 伝染症などの国内及び世界的な監視ネットワークを実施する。

IHS は、連邦政府から継続的資金、訓練、そして技術的支援を必要とする 4 つの部族の疫学研究センターを支援し続ける。アメリカンインディアンとアラスカの原住民に適切な対応を行うためには少なくともあと 2 つの新たなセンターが必要になる。

測定方法

- ・電子媒体で病気などを報告する活動などに、地域公衆衛生機関がインターネットに接続し、利用している比率
- ・公衆衛生部門が病気の統計などを電子的に報告している比率
- ・保健・福祉省の保健データ統計について、発生時点と公表時点の時間差
- ・CDC により訓練された疫学情報サービス員 (EIS: Epidemiologic Intelligence Service) の数
- ・CDC により訓練された微生物学研究所員で地域、州、連邦研究所に働いている人数
- ・HRSA の公衆衛生研修を受けた人数

新しい法規

当省は国会に州レベルでの情報構造の発展を促すべく、州への補助金を行い、柔軟性を高める権限を授権されるよう要請した。

主な外的要因

この目標を達成するためには公的部門と私的部門間の共同施策が必要になる。

戦略目標 5.2

効果的な科学的規則を増やすことにより食品と医薬品の安全性を確保する。

食品医薬品局と家禽と肉を扱う合衆国農務省の施策の結果、アメリカ国民は世界で最も安全な食糧があり、安全性、信頼性、効能が保証された医薬品と医療製品が

ある。FDA は安全でない、もしくは効果のない製品を市場から除くだけでなく、迅速に価値のある製品が作られ、入手可能であることを確保する。食品とすでに市場にある製品については、FDA の役割はそれらの安全を確保することである。FDA の役割の効果は、サーベイラスと CDC に指揮される体系的(programmatic)によって広がっている。

過去の業績は優れていたが、監視の継続は必要である。例えば、先進国の中では合衆国の食料は最も安全であるが、食品から生じる病気はいまだに公衆衛生に脅威を与え、ヘルスケアのコストの上昇原因となっている。すべての食べ物に関する障害では細菌がほとんどの原因となっている。確認されている病気の発生の 90 パーセントが細菌によるもので、結果として毎年 3,300 万の疾病と 9,000 の死亡で 30 億ドルのヘルスケアコストを消費している。

強力な研究能力と新しい規制の制定(regulatory challenges)を明らかにし、対応する能力が FDA の成功の今までの、そしてこれからの重要な要因である。局の 21 世紀に当たっての戦略的取り組みは減少する資源と上昇する要求という政府環境の中でその規則の効果を持続させることである。2002 年には 1994 年の購入力 of 70 パーセントという資源の中で、FDA は複雑で新しい商品群を調査し、国内の増加する食品生産と輸入食品という監視対象を持ち仕事量は増加するだろう。

達成方法

FDA はこの資源と仕事量を明らかにしなければ、食品、医薬品そして医療製品の安全性を確保できない。それは二つの方法での取り組みである。最初に増加する仕事量を提示するために、FDA は科学的情報をさらに効率的に利用することで効果的で有効な食品、医薬品、そして医療サービスの規定を補強することによって規則の効果を上向きさせる。次に、FDA は減少する資源を補完するために、産業と関係者(stakeholders)に健康障害(health hazard)を管理する協力を仰ぐ。

科学的根拠を活用する。FDA 規則を支える科学的根拠(science base)の効率的活用を向上させるために、FDA は下記の手順を踏む。

- ・新しい研究検証方法を開発し、訓練された職員を通じて、市場取引での有害な出来事を監視し、検査する能力を高める。
- ・CDC と協働し、食物による病原の発生について早期発見・早期警戒システムを拡張する。
- ・科学的根拠の向上をさらに効果的に調査工程として使用し、市場に出る前の医薬品や製品を調査し、認定する時間を、消費者安全性を犠牲にすることなく短縮する。

連携

産業と消費者の食品と製品の規制への関与をさらに効果的にするために下記のことが行われる。

- ・ 産業の質保証プログラムの障害分析重大制御ポイント (Hazard Analysis Critical Control Points) や、胸部エックス線写真治療の質と安全性条例 (Mammography Quality and Safety Act) などが奨励される。
- ・ 合衆国農務省 (USDA)、合衆国環境保護庁 (EPA)、CDC そして、州機関との協力の中で、FDA は州と地域政府が内部構造を発展し、食料由来病原を発見し評価し、その反応に対する調整ができるよう補助と技術的補助を拡大する。
- ・ FDA、CDC、USDA、そして EPA は病気発症に対する対応の調整の向上を連邦、州、そして地域食品安全プログラムの職員の交換により行う。
- ・ FDA は商品分類の向上と消費者に科学的根拠の規制行動に関するさらなる理解を得るための活動を行う。
- ・ FDA と製薬産業は、患者の処方箋薬と OTC 薬品の使用を指導を行うために、一般的な情報に関する患者への提供の改善を 2004 年までに目指す。

測定方法

- ・ JIFSAN (食品安全と提示栄養のための共同施設) による早急な食品障害発見のための新しい検証方法の数
- ・ 障害分析管理ポイントシステム (Hazard Analysis Critical Control Points System) の下で営業している海産物の比率
- ・ 州契約とその共同によって行われている国内食品監視の比率
- ・ 食品由来の病気の発生から公衆衛生職員の最初の行動までの時間
- ・ 製品申請検査の時間

新しい法規

処方箋薬品利用者負担条例は、この目的のためにも必要である。いくつかの共同作業—例えば、利用者の料金に関連するものは立法と保護規則が必要かもしれない。

主な外的要因

FDA の成功は、州と連邦機関、私的組織、そして産業などのパートナーの努力にかかっている。

[6 国の健康科学研究事業を強化し、その生産性を増進する]

健康の改善には、保健・福祉省やその他の公的・私的部門によって進められ、主催された調査によって得られた知識に基礎づけられている。こうした科学の範囲や質において、保健・福祉省は医療分野、疫学分野、行動科学、ヘルスサービス調査研究において世界にリードしている。

国立衛生研究所(NIH)は、全国の医療研究機関において重要な役割を担っている。NIH が主催する調査は、アメリカ国民の保健や生活の質の改善に貢献する知識として一般化される。また、医薬品、医療機器、バイオテクノロジー産業等の商用製品開発における継続的な知識を提供し、あるいは、その他の国家医療研究基盤として知識を提供している。NIH における調査訓練によって、公的に設立された研究活動やバイオテクノロジー、関連する産業において主導的役割を担う非常によく訓練された科学者を全米に輩出している。アメリカ国民の将来の健康改善における非常に重要な役割が、NIH によって開発された調査研究基盤や一般原則、あるいは NIH の有益な調査投資によって担われている。

CDC もまた疫学的、人口調査を行い、公衆衛生を保全し、疾病、傷害、障害を予防し管理するための強力なプログラムを指揮している。

最後に、当省の保健サービス調査は、地域における日常生活の中で、何が最も費用効果的であるか、サービス提供において最も効率的な提供方法や資金計画を明らかにする点において非常に重要な役割を担っている。

当省は、国際的科学協力や規制政策といった手段を通じて、私的部門の調査研究投資を促し、国家の調査機関の生産性を高めている。

当省の調査研究投資戦略の中心に4つの原則がある。

基礎研究：まず第一に、生命科学や保健サービス調査研究における基礎的方法論に関する基礎研究に高い優先順位がある。バイオテクノロジー分野において、バイオテクノロジー産業の歴史ではこうしたアプローチが賢明である。保健・福祉省による基礎研究への投資によって、疫学、医学、保健サービス研究が支えられている。こうした分野では、公的部門、私的部門双方ともよりよく管理され、補償される基礎を基にしている。

投資家による調査研究：第二の原則は、研究者によって進められる調査研究に対して高い優先順位が与えられている。当省では、伝統的にトップダウンによる科学の方向づけを避け、個々の科学者が広範囲のプログラム目標や政策順位をつけて調査研究プロジェクトを遂行し、また発表する目的を優先している。結果として保健・福祉省では、人々の健康と福祉の向上に対して科学者の創造的エネルギーを活かすことによって、類のない有効性を達成している。

同僚評価(Peer Review)：第三に、同僚評価を通じて、調査研究プロポーザルの質と成果を評価している。専門的優位性について相対比較を行うことによって、調査研究機関では調査研究のアイデアは最も難しいこととなっている。当省の長年の成功の要因は、適切な科学者との連絡を通じて、先駆的な専門家のアドバイスを得つつ、配慮することによって、最も有望な科学分野への機会に投資し、研究活動の問題点を明らかにしている。

調査研究能力／基盤：第四に当省が支援する調査研究は広範で多様な機関が関わっており、営利事業として保健研究会社での調査研究も推奨されている。大学や非営利調査組織、病院やその他中小事業者、政府系研究機関—それぞれは科学の重大な進歩には好意的な環境をそれぞれのやり方で提供している。また大学におけるユニークな役割について、当省では調査研究を継続して支援していくものである。積極的な大学へは強い支援を行っている。特に、調査研究費用に対して公正に支払う政策を継続し、大学の保健センターと協力して、マネジドケア下での不安定化に対抗するためにも臨床研究や保健専門教育を育成する。医学研究における進歩を確かなものとするためには、最新の動向や安全性調査施設・器具といったものは必要である。当省は、保健・福祉省の意図する医学研究などの調査研究については新しい建物や施設についても提供支援し、保守・修繕、建設も行う。

当省は、こうした原則を再確認し、健康科学に関する知識を発展させ、研究の質の維持するために新たな投資を行う戦略をとっている。

戦略目標 6.1

生物学的なプロセスにおける正常行動と異常行動に関する理解を向上させる。

生命プロセスにおける基本的な理解は、健康や疾病対策、障害について改善を図るためには必要なことである。生物学的あるいは行動学的プロセスに関する新しい知識は疾病の発症を理解したり、また遅らせたり、治療したり、治癒したり究極的には予防するために必要な知識である。

あらゆるレベルでの基礎研究はわれわれの日常生活から最も基本的な要素に至るまで重要なものである。この進歩は新しい科学を先導し、技術的知識を先導し、やがて革新的な製品や商業的利益に結びつく。こうした進歩は莫大な高い技能や高い賃金職種アメリカ国民の生活の質の改善に重大な役割を担っているということがができる。

医学研究と健康の改善のつながりについては、日々蓄積される多様な人間の遺伝子の特性に関する膨大な知識になぞらえられる。この調査研究は多くの新たな概念を生み出し、ガンや慢性疾患等の多様な細胞メカニズムを理解するためのツールを

生み出している。；そして予防や治療に関する新しい方法を拓きつつある。

測定方法

保健・福祉省は生物学的行動学的知識について以下の方法によって進展させる。

- ・ 医学研究への投資に対する優先を維持する。
- ・ 研究者主導、同僚評価モデルを用いて高い品質の調査研究の選択を進める。
- ・ 意思決定メカニズム、政策を実行し、医学研究が健康ニーズや科学の機会、新しい技術にとって敏感であるようにする。
- ・ 技術移転を促進し、産業や連邦の医学研究との連携を推進し、新たな技術が伝わるようにする。

測定方法

生命学上のプロセスや行動に関する正常／異常に関する理解の向上の結果得られた知識の全体

新たな法規制

なし

主な外的要因

この目標達成には、科学のために用いられる資源に影響を受け、かつ科学の発展や進歩は予測できないという特質が大きく関わっている。

戦略目標 6.2

傷病や障害に対する予防、診療、治療を改善する。

医学研究によって、新しく改良された傷病の探知方法や診療方法、治療方法が分かる新たな知識が生み出されることがある。通常の傷病プロセスでも新たな見方によって、予防処置を開発することができる。そしてそれは健康状態の改善の究極的な現れとなる。

医学研究の重要性については、1996年国家科学技術委員会(National Science and Technology Council)において「国家の関心における技術(Technology in the National Interest)」に報告されている。この報告では、医学研究の功績について次のように記述している「NIHに支援された医学研究は多くの発見につながり、アメリカの人々の健康や生活の質を改善した。これはNIHの主要な目的であるが、医

学研究は技術的にも経済的にも便益をもたらす。」

加えて、CDCの研究では、病原や免疫学そして傷病の遺伝予防の基礎に対する理解の向上に貢献する。

達成方法

この目標の達成方法は目標 6.1 と平行関係にある。

測定方法

- ・ 傷病や障害の発症を予防したり遅らせたりする変化
- ・ 傷病や障害の診療の変化
- ・ 傷病や障害の治療の変化
- ・ ワクチンや診療法、治療方法等の新規の、あるいは改良された医療技術や医学的成果の出現

新しい法規

なし

主な外的要因

科学的発見が私的部門で応用され、商業製品や工程に組み込まれる率は、調査研究の発見を実践への転用に影響する。さらに科学的発見や発展は予測できないものである。

戦略目標 6.3

人口調査を通じた公衆衛生予防施策を改善する。

伝染性の疾患の広がりを防ぐための調査研究、疾病の環境原因の削減、病気や死に至る前の健康行動の推進は、保健・福祉省が全米の市民の健康状態を改善し、生活の質を高める施策にとって重要である。当省における CDC は人口関連や公衆衛生関連の調査研究に重点をおいている。この調査研究は当省において、また全米の公衆衛生機関において公衆衛生問題の解決に活用され、予防プログラムの有効性改善に活用される。例えば、性感染症予防に関する調査研究や児童の鉛中毒等は公衆衛生の問題として考えられ、これらの疾病管理に重要な進展をもたらしている。

当省では、予防に関する継続的な調査研究は公衆衛生にとって必要不可欠であるものと考えている。そのため、保健・福祉省では以下のステップをとっている。

- ・人口関連や公衆衛生の予防に関する調査研究の優先的に行う。
- ・公衆衛生ニーズに応えるためには予防のための調査研究を確保する仕組みに取組む。
- ・予防に関する調査研究について、公衆衛生機関と大学の連携を促進する。

測定方法

- ・公衆衛生プログラムにおいて採用された新規、革新的な予防戦略の数
- ・ヘルシーピープル 2000 と 2010 に適合する予防目標の割合

新しい法規

なし

主な外的要因

この目標の達成には多くの外的要因が強く影響する。それらの要因には、公衆衛生ニーズの変化、新感染症や再出現した感染症の影響、人口の変化、あるいは高齢者人口や慢性疾患の増加等の影響も含んでいる。ますます傷病の予防や治療は、行動の変化に影響を受けるし、(傷病につながるようなハイリスク行動の削減や健康増進行動の推進等の) 永続的な変化をとることもあり、大変困難な問題である。州政府や地域保健機関との調査研究ネットワークを開発するために、保健提供者 (health provider) や大学では、人口関連の調査研究が必要とされている。

戦略目標 6.4

医療保健サービスの質、財政、費用および費用対効果に関連する主要な問題について理解を深め、反応をよくする。

全米のヘルスケアシステムは病院システム、薬局会社、保健医療計画、マネジドケア企業の急速な統合合併の結果として、劇的に変化しつつある。保健医療の提供システムは大規模かつ複雑である；費用にかかる圧力によって、ケアがどのように、どこで提供されるかについてイノベーションを生み出し；人口は高齢化している。

保健サービスの調査研究ではヘルスケアの毎日の実情を調べているが、保健サービスの現在の変化の影響について、費用、有効性の評価が必要とされている。多くの重要な間に答えることが必要である；ケアを受けた人はどのような変化があったのか、どれほどのケアが提供されたのか、どのようなタイプのサービスが提供されたのか。提供されたケアの費用と質はどうか。どのサービスが最も費用効果的なのか。効果的な治療に関する調査結果について、より迅速に毎日のサービス提供者に

伝えることができるのか。サービスの質、患者満足、効率性、成果を評価する新たな方法が必要である。保健サービスの調査研究は、特にメディケア等の連邦プログラムのように支払いの変革をする際の分析的な基礎となるため、重要である。

達成方法

保健・福祉省は以下の方法によって、保健サービスにおける主要な問題の理解を深め対応を行う。

- ・保健サービスの調査研究への投資
- ・主要な調査課題を明らかにし、最も質の高い研究プロポーザルを採択するために、調査研究分野横断的に、規則的内部評価・外部評価、支援メカニズムの有効性を検証するためのワークショップ等の開催プロセス等を経て、研究者主導、同僚評価によるモデルを活用する。
- ・州政府や私的部門の組織と調査研究での連携を図る。

測定方法

- ・提供されるヘルスケア、治療に影響する患者の役割について診療の有効性を含み、質を評価するために利用できるツールや業績評価手法
- ・ヘルスケア機関や財政の変化の影響を知ることができること。
- ・通常の治療や高いコスト状態、特にメディケア人口において費用効果的な方法等に関する新しく有益な知識を利用できること。
- ・調査研究の結果について、政策実行面や、公共、現場、保健医療政策に関する意義について確認できること。

新しい法規

なし

主な外的要因

他の連邦機関や州政府、民間部門との連携は、保健サービスの調査研究が現在および将来における保健医療サービスの市場での挑戦のために必要である。

戦略目標 6.5

新薬、生命工学治療や医療技術の分野における民間部門の開発を加速する。

当省の重要な使命の1つに、公衆衛生の保全がある。当省のこの役割における業